

## 令和7年度電子黒板更新業務 評価基準

評価項目		評価基準	配点		
一次審査	提案内容	業務実績	・官公庁への導入実績を踏まえ、円滑な履行が期待できるか。 ※メーカー実績（当該機器導入実績等）、販売店の事業概要及び事業実績	10	
		本体機能	基本的性能	・基本的性能（CPU、ストレージ、メモリ、OSのバージョンなど）がハイスペックなものであるか。	20
			インタラクティブ性	・授業で活用できる機能やツール（背景、フォント、テンプレート等）が充実していて、児童生徒のワクワクドキドキな学びの提供に資すると期待できるか。	20
			ホワイトボード機能	・書き込んだ文字をテキスト変換したりWeb検索した画像を直接ホワイトボード内に貼り付けたりするなど、板書を綺麗にまとめるための機能が優れているか。	20
			親和性	・ChromeOSやGoogle Workspace for Educationとの親和性に優れているか。	10
			スタンド	柔軟性	・スタンド昇降や移動の際の柔軟性に優れているか。
		その他		管理機能	・デバイスの集中管理の方法が煩雑でなく、効率的であるか。 ・稼働状況の確認や遠隔サポートなど、その他利便性に優れているか。
			セキュリティ機能	・デバイスロックの設定及び解除方法が容易かつセキュリティが強固なものであるか。 ・ユーザーやアプリがセキュアに管理でき、ウイルス対策が十分に確保されているか。	15
			保守体制	・機器の故障や障害発生時に迅速な対応が行える体制が十分に整備されているか。 ・学校への影響を最小限にするための配慮が十分にされているか。 ・保守期間を6年以上にすることができるか。	10
			サポート体制	・問合せ窓口の体制やサポートサイトの内容は十分であるか。 ・操作方法や活用事例紹介等の導入後の支援が充実しているか。	5
	既存機器の取扱い		・廃棄または売却、再利用に関する提案が法規制に遵守しており、実現可能か。 ・効率的で経済的な方法により、適切な処理が行える人的・物的資源が確保されているか。	10	
	価格	自由提案	・仕様書に記載のない機能やサポート等について、提案内容が優れているか。	20	
		価格	配点（40点）×最低見積価格/提案価格	40	
合 計			200		

二次 審査	提案 内容	本体 機能	インターフェース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起動が迅速であるか。</li> <li>・画面設計が視認性及び操作性に優れているか。</li> </ul>	15
			感知機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆圧と線の太さや濃さの変化が滑らかであり、正確に表現できているか。</li> <li>・不要なタッチや意図しない線の入力などの誤認識が少なく、正確に反応しているか。</li> </ul>	20
			コンテンツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワクワクドキドキな学びを促進するコンテンツに優れているか。</li> </ul>	20
		その他	管理機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理状況の可視化や遠隔サポートの機能に優れているか。</li> </ul>	10
			インシデント対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デバイスロックやポリシー設定の方法が煩雑でなく、セキュリティ強度に優れているか。</li> </ul>	10
			将来性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種OSやソフトウェア連携などと互換性があり、将来性を兼ね備えているか。</li> </ul>	5
		自由提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕様書に記載のない機能やサポート等について、提案内容が優れているか。</li> </ul>	20	
<b>合 計</b>					<b>100</b>